

ごんろく  
権六遺跡

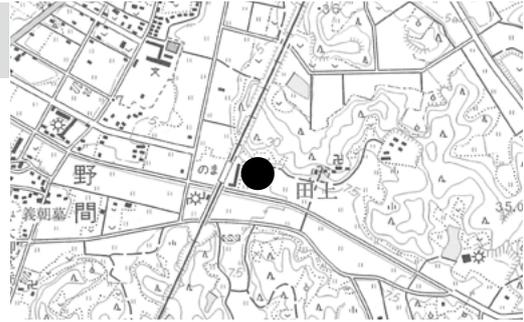
所在地 知多郡美浜町大字野間字権六地内  
(北緯34度46分25秒 東経136度51分44秒)

調査理由 県道野間河和線

調査期間 平成26年10月～平成27年3月

調査面積 2,400㎡

担当者 蔭山誠一



調査地点 (1/2.5万「野間」)

調査の経過 発掘調査は、県道野間河和線の建設工事に伴う事前調査として、愛知県土木部道路建設課知多建設事務所より愛知県教育委員会を通じた委託事業として行った。

立地と環境 本遺跡は美浜町の南西側に位置する遺跡で、名鉄野間駅の東北東約100mにある。遺跡の立地は、知多半島の伊勢湾側にある丘陵の南側裾部に立地する。遺構検出面の標高は4.5mから7.0m前後で、調査区内の東西に2ヶ所の谷地形がみられる。調査区の中央付近の丘陵上には、美浜町の町指定史跡である千人塚がある。

調査の概要 調査区は名鉄野間駅のある西側から東側へ14A区～14D区の4調査区を設定し、西から東に順次調査を実施した。基本層位は地表より深さ0.5m～1.0mに表土(腐植土)層とその下にある近年の整地・盛土層が、その下にて近世後半以後の主に水田などに伴う造成とその整地・盛土層が0.2m～1.0m程あり、その下に中世以後の遺構や遺物包含層が基盤層の上に堆積していた。遺構の検出は、近世後半以後の整地・盛土層上面とその下面にて行った。

まとめ その結果、中世の掘立柱建物1棟、竪穴建物1棟、柱穴列4列以上、溝10条、土坑・柱穴多数、江戸時代後期以後の井戸2基、溝2条、土坑多数と古墳時代前期後半から江戸時代にかけての出土遺物が確認できた。

今回の発掘調査によりみつかった遺構と出土遺物は、平安時代末～鎌倉時代前半に中心があり、調査地点の北にある史跡千人塚の伝承の時代と対応している。今後、この地域の歴史を考える上で、貴重な成果になるものと思われる。

(蔭山誠一)

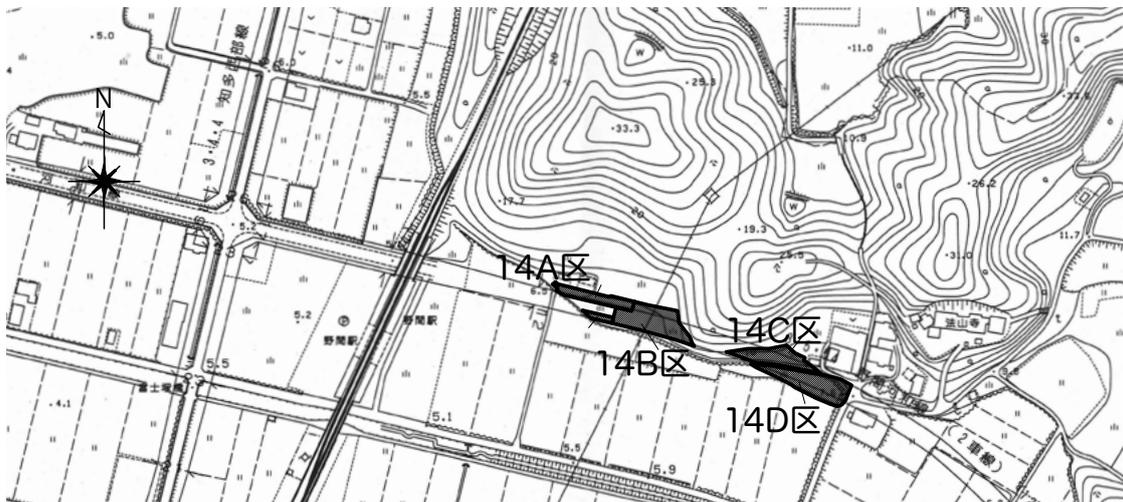


図1 調査区位置図 (1:5,000)



14A区全景 (西より)



14B区全景 (西北西より)